

創建当初の位置に現存することが重要。明治20年代、30年代、大正時代の特徴が反映

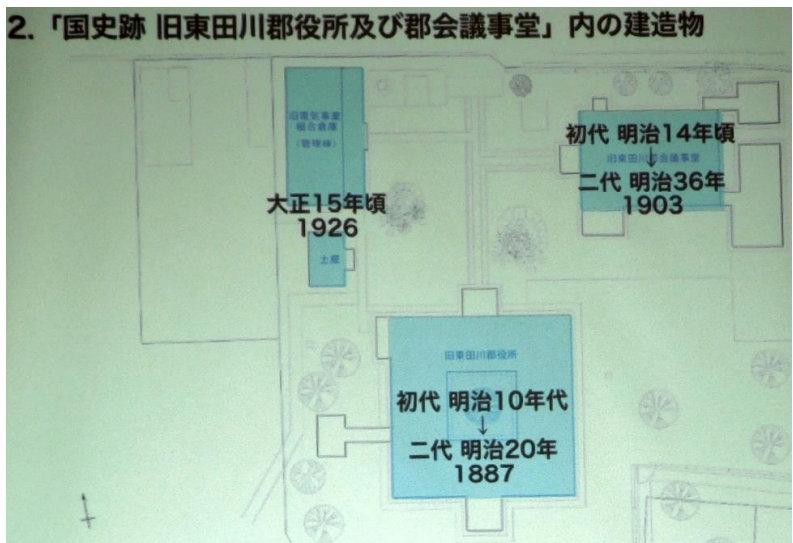
藤島庁舎総務企画課 主催による「国史跡」講座の第1回が、9月28日開かれました。



講師は小幡知之氏（山形工科大学短期大学校校長）で、テーマは「旧東田川郡役所及び郡会議事堂内の建造物について」です。

なぜ藤島に立地か

小幡氏は、なぜ藤島に立地したかを説明。古代は藤島に、「郡衙（ぐんが）律令制下の役所」が置かれ、中世



は、「藤島城」、近世に、「堰の開削や街道の整備」が進み、「本陣」が置かれ、その下地が近代につながった。

近代は、明治に大区小区制の「区務所」が藤島に置かれ、その後郡政が敷かれ、区務所を「郡役所」に転用し、手狭になったので増築され、初代郡役所（明治10年代）となった。それが明治19年に消失し、明治20年に2代目郡役所を新築した。郡会議事堂は、明治14年頃に建築され、郡役所消失後、議事堂を仮郡役所に貸していた。明治24年には、元皇族の久我尼宮（こがのあまみや）が休憩しており、格式があった。

その後、年代不明で消失し、明治36年に2代目郡会議事堂が建築された。

旧東田川電気事業組合倉庫・土蔵は、大正15年頃に建築された。明治45年に郡営の電気事業を創業し、大正4年に電力供給を開始。大正12年に郡政が廃止され、東田川郡藤島町外27カ町村電気事業組合が事業を継承し、郡会議事堂を事務所としていた。

2代目郡役所の和風基調（明治20年）は、洋風から和風の再認識へ、建築界の全国的な流れをやや先取りした。2代目郡会議事堂の洋風基調（明治36年）は、2階議場の梁間7間のトラスト構造。倉庫・土蔵（大正15年頃）は、外観に装飾を施し、珍しい。

小幡氏は総合的所見として、「同一敷地に現存する建物は、それぞれ年代が異なり、各時代を反映した明確な特徴を持つ。これらの建物が創建当初の位置にそのまま存在することが重要であり、この場所が経てきた時代の厚い層を肌で感ずることが出来る。」と述べました。

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

庚申塔
この村にも村の入口や神社などに、「庚申塔」や、「青面金剛」、3匹の猿を彫った石塔などがあつた。
庚申塔はどんな神様なのかと聞かれるが、実は暦からきているのである。
「庚申」は、「庚」か「申」と「申」さるのことで、昔は、今のような年号を使つて何年とは言わず、庚申の年とか言つていた。
庚申は、干支（えと）の組み合わせで、陰陽五行説（いんようごぎょうせつ）という古代中国から発生し、月日に当てられるようになった。
組み合わせは60通りあり、一巡すると還暦となる。
1番目は「甲子（こうし）」のえね、31番目は「甲午（こうご）」のえうま、60番目は「癸亥（きがい）」みずのとい、で、庚申は57番目である。
庚申は「庚申の日の信仰」であるが、中国の道教の説明では、人の体内に「三尸（さんし）」という虫が棲んでいて、庚申の夜に人が眠ると、体内から抜け出して、天帝にその人の日ごろの罪科を告げる。

「三尸」とは、上戸（頭部）、中戸（腹部）、下戸（脚部）の3匹の虫である。
三尸の虫の報告を聞いて、天帝は人の寿命を削つて早死にさせる。だから長生きするには、庚申の日には身を慎み、眠らずに夜を過ごし、三尸の昇天を防がねばならないと云う。
庚申塔は八色木にもたくさんあるが、八色木の村の入口にある庚申塔は、建立覚え書きが残されている。
それによれば、宝暦9年（1759）に、仁助、武左エ門、利左エ門、門三郎、野左エ門が発起人となって準備を進めた。
明和元年（1764）に川行の石工が、仙道に良い石があるというので頼んだが失敗し、668文の損をした。その後、市野山に行き、雪の中、苦勞して石を運んだ。
ちょうどその頃、三郎左エ門が古い庚申像の絵が出たので、堂に納めたとある。
現在、何処に祀られてあるか不明である。費用は、人夫183人、うち市野山衆と手向衆13人、石引雑費64貫212文、供養雑費3貫170文となつており、大きな石を運ぶのに難儀したであろう。
今、神社境内の入口南側に安置されている。



八色木入口にある庚申塔

小中一貫校（義務教育学校）への疑問

疑問1 「子どものいない地域」だと思われませんか？

藤島に小学校もない、中学校もない、あるのは9年制の義務教育学校1校だけ。
そうなら、藤島は「子どものいない地域」だと思われるので

疑問2 学校を核にした地域づくりはどうなりますか？

東栄小学校の伝統の獅子踊りは、1993（平成5）年から31年。
渡前小学校のこども獅子踊りは、1997（平成9）年から27年。
小学校は地域の宝であり、地域で子どもを

疑問3 ネガティブ（消極的）な子どもが多くなりませんか？

新庄市立明倫学園に視察に行った人は、「8、9年生が1、2年生の面倒をよく見ていて、挨拶もしっかりし、子どもたちは明るい表情だった」と、感想を述べていました。
一方で、学者・研究者の全国的な調査では、

「施設一体型の小中一貫校の生徒は、他の学校の生徒と比べ、向上心や積極性などが低かった。」
「相対的にネガティブな状態のまま推移し、問題を抱えている。」などが報告されています（『小中一貫教育の実証的研究』2021年3月）。
生まれて6歳の児童

校で大丈夫でしょうか。小学校文化と中学校文化の違いは、どうなるのでしょうか。

発達学が言われているようですが、「子どもの10歳の壁」は、思春期前の「第二次性徴」で、心身両面の大きな揺らぎがあり、不登校が生まれやすい時期。小学校において、児童期の発達を丁寧で達成させることが大切と言われています（渡辺弥生『子どもの「10歳の壁」とは何か？』光文社新書）。

対案は吉島小学校

対案は、少子化でも、川西町の吉島小学校（令和5年度児童数88人）の地域組織「きらりよしまネットワーク」に学び、地域学校協働活動から突き抜けた実践を展開することです（民報9月1日号）。

東田川史跡物語 稲作改良碑⑦

青山 崇

稲作改良碑に思う

3、台石
何の石か不明だが、形・姿・色など近辺で見かけないものである。下から2段は石垣積で遊佐女鹿で採取される間知石である。もともとは、少し黄みがかつた温かな雰囲気を持つ薄紅色台石である。なお、汚れを洗浄できなにかと思う。
4、稲作改良碑基壇の石垣と、図書館への長方形の通路石



台石と石碑はどのよ

ここだけが史跡の通

路の中で黒石である。北山文雄氏によれば、同じ間知石と言われている。

稲作改良碑は1906（明治36）年7月建立との刻字が碑文にある。郡会議事堂建立は同年であるが、月日が分らない。それで皆さんに以下の調査をおねがいしたい。
稲作改良碑建立を見つめた後の島野氏の行動について、須々田黎吉東京農業大学名誉教授は、論文「明治農業大書にみえる農学者と老農の



新内閣の初仕事は

メディアが長い事やってくれたネ。丁寧な政策に質問をぶつけあう討論までもサ。それで、首相になって何から手をつけるんだかね。国民が判断できる材料を提供することは新総理の責任と言っておきながら、解散を決めているとはね。

▲先ずは能登の復興だ。次は、選択的夫婦別姓制度を法案にすること。自民議員の何人かが賛成すれば通る流れだった。石破さんを半数以上が推したんだからサ。

▲「憲法」を変えろ事は国民が望んでいない。この頃は戦争がだんだん近くなっていると感じるんだ。アベも岸田も多くの外国を回ったが、戦争をしない話し合いと外交に注力することだと思ふヨ。石破さんの弁舌が8人から勝ったんだから、外国

交流について」『明治農業大書一巻』所収1983年刊行に、次のように書いている。
「島野氏は10月（日付不明）日の記念式に出席し、その翌々日に郷里・福岡に旅立った」と。

しかしこの出典がない。これが分かると郡会議事堂と一緒に記念式だったのか、基壇の石垣と通路の石上が同じであるかなど、分るかも知れないのである。この調査を進めたい。

にも期待している。

▲俺がもう一つダメなのが、働く者の首を楽に切る法案だ。今の法律は、働く者が自分の条件に合わせて自由に働けるーという触れ込みだったが、当時の労働基準法では出来なかつた労働者の賃金ピンハネ（派遣）会社を可能にし、労働者を管理するように小泉がした。▲それで正社員を減らし、不安定な労働条件の非正規を増やし、資本家の懐が太ったんだ。それを首切り自由化しようとは、ひどいもんだ。経営者団体の要望なんだよ。

▲逆に所得倍増を唱えた人が居たネ。倍増に越した事はないが、せめて時給1500円は早急に。それは全国一律で。だ。それが貴殿の言うみんなが喜ぶに繋がるんじゃないの？同時に福祉で働く人たちの賃金も上げてね。（石川）